

群馬県地震被害想定調査

概要説明資料

令和8年3月
群 馬 県

目次

1	調査の概要	1頁
2	前回調査からの変更点	5頁
3	被害想定結果	9頁
4	調査結果の活用	29頁

1 調査の概要

1 調査の概要

(1) 背景・目的

- 前回調査以降の地震防災対策の効果を検証したうえで、地震被害想定調査の結果を最新の状況を踏まえたものに更新し、調査結果に基づき、今後の地震防災対策を推進するとともに、県民の防災意識を向上させることを目的とする

(2) 調査方針

- 想定地震や気象等の条件について、想定し得る複数のシナリオのうち、最も影響が大きいと考えられる条件を採用する

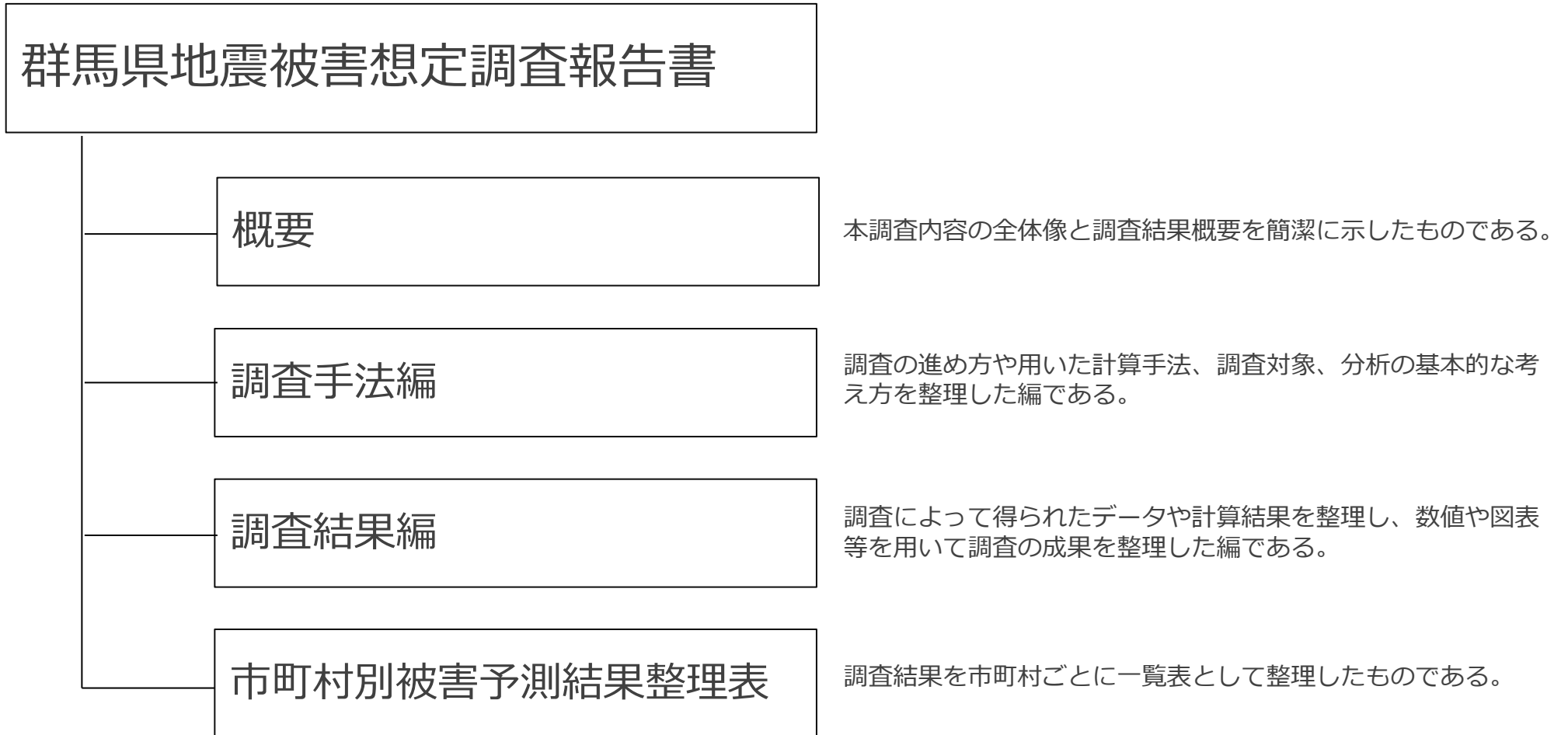
1 調査の概要

(3) 群馬県地震被害想定調査検討委員会開催概要

	開催日時	主な議題
第1回	令和6年11月18日 10時～12時	想定地震の設定、地震被害想定項目、県民防災意識アンケート
第2回	令和6年12月4日 10時～12時	地震動の予測手法、液状化の予測手法、土砂災害の予測手法
第3回	令和7年3月13日 10時～12時	地震動・液状化・土砂災害の予測結果、県民防災意識アンケートの結果、建物被害想定手法、人的被害想定手法
第4回	令和7年7月4日 10時～12時	建物被害・人的被害の予測結果、交通輸送施設被害想定手法、ライフライン施設被害想定手法、生活への影響等その他被害想定手法、地震防災対策の効果検証手法
第5回	令和7年10月14日 10時～12時	交通輸送施設被害の予測結果、ライフライン施設被害の予測結果、生活への影響等その他被害の予測結果（一部）、地震防災対策の効果検証結果、調査結果の活用方針（案）
第6回	令和8年1月21日 13時30分～16時30分	新たな首都直下地震被害想定、生活への影響等その他被害の予測結果、調査結果の活用（案）、報告書概要版（案）

1 調査の概要

(4) 調査報告書の概要



2 前回調査からの変更点

2 前回調査からの変更点

(1) 評価対象の変更点

- 前回調査で評価した「関東平野北西縁断層帯」は、平成27年4月(平成30年10月に一部訂正)に地震調査研究推進本部の長期評価が見直されたため、「深谷断層帯-綾瀬川断層」として想定する。
- 平成27年4月(令和2年6月に一部訂正)に地震調査研究推進本部の長期評価に桐生市、みどり市付近に分布する大久保断層が加わったため、これを評価対象とする。
- 北部や西部の中山間地域への影響も考慮して、六日町断層帯、長野盆地西縁断層帯を評価対象とする。
- 活断層が確認されていない場所でも過去には地震が発生していることから、どこでも起こり得る地震としてマグニチュード6.9の規模の地震が各市町村直下で発生した場合を想定する。

2 前回調査からの変更点

(2) 想定地震の変更点

※赤字は変更点

前回調査	本調査
関東平野北西縁断層帯主部 (M8.1)	深谷断層帯・綾瀬川断層 (M8.0)
太田断層 (M7.1)	太田断層 (M6.9)
片品川左岸断層 (M7.0)	片品川左岸断層 (M6.8)
	大久保断層 (M7.0)
	六日町断層帯 (M7.7)
	長野盆地西縁断層帯 (M7.9)
	各市町村直下地震 (M6.9)

2 前回調査からの変更点

(3) 評価内容の変更点

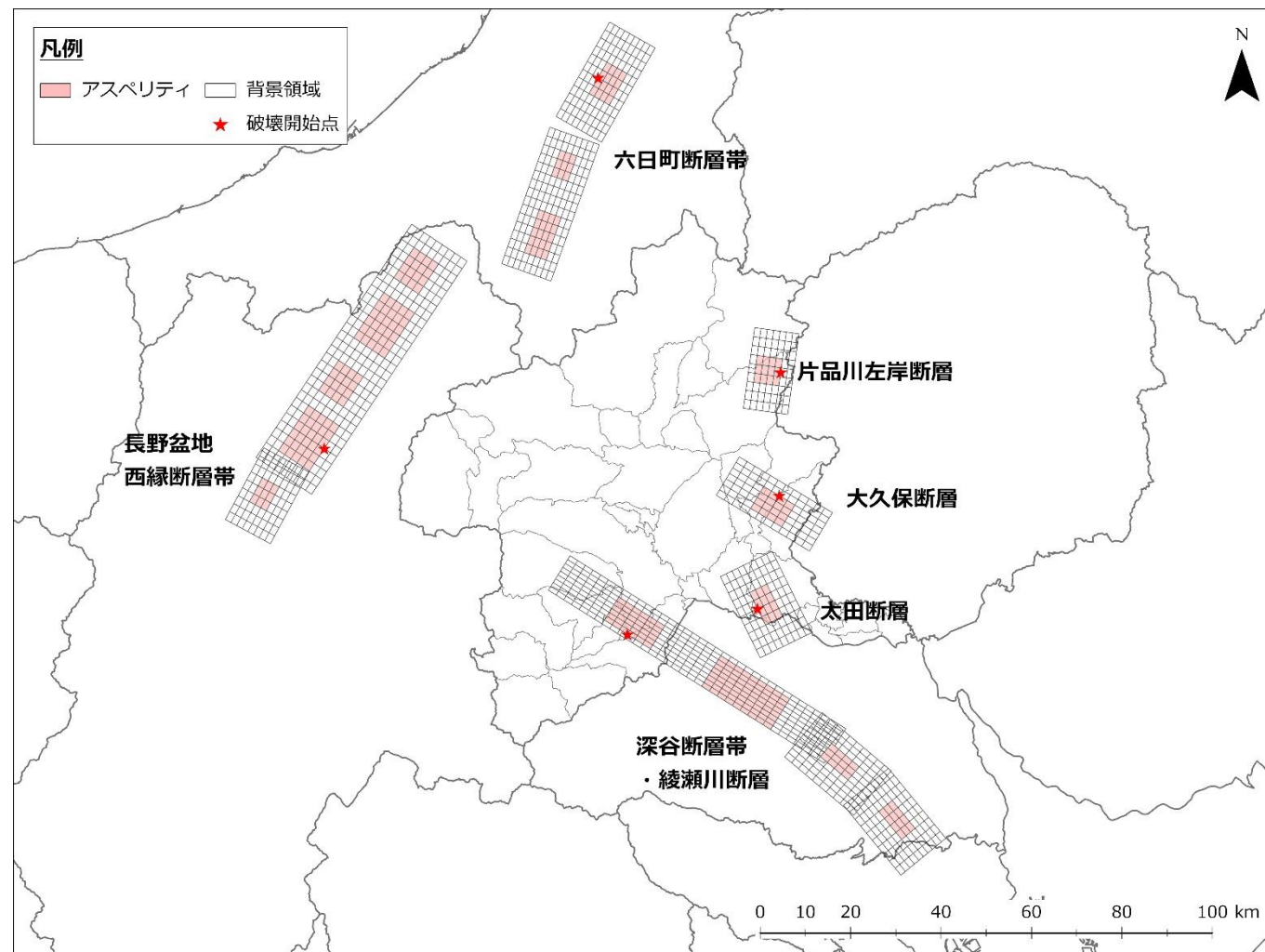
※赤字は変更点

項目	前回調査	本調査
液状化危険度	PL値	PL値、沈下量
土砂災害危険度	急傾斜地崩壊危険箇所、山腹崩壊危険地区	土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊、地滑り、土石流）、山地災害危険地区（山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、崩壊土砂流出危険地区）、地すべり防止区域、なだれ危険箇所、雪崩危険箇所
建物被害想定	揺れ、液状化、土砂災害、地震火災	揺れ※1、液状化、土砂災害、地震火災 ※1：冬季は積雪の影響を考慮
人的被害想定	建物倒壊、屋内収容物転落・落下、屋外通行、土砂災害、火災	建物倒壊、屋内収容物転落・落下、屋外通行、土砂災害、火災、要救助者
ライフライン被害想定	上下水道、都市ガス・LPガス、電力、通信（固定電話）	上下水道、都市ガス・LPガス、電力、通信（固定電話、携帯電話）
交通施設被害想定	道路、鉄道	道路、鉄道
生活への影響	避難者、要配慮者、帰宅困難者、物資機能支障、医療機能支障、住機能支障、災害廃棄物、清掃・衛生機能支障	避難者、要配慮者、帰宅困難者、物資機能支障、医療機能支障、住機能支障、災害廃棄物、清掃・衛生機能支障、災害関連死
その他の被害	文化財、ため池、孤立集落	エレベータ内閉じ込め、宅地造成、文化財、ため池、孤立集落、危険物施設、河川、複合災害
経済被害	直接経済被害	直接経済被害、間接経済被害（生産サービス低下の影響、交通寸断の影響）

3 被害想定結果

3 被害想定結果

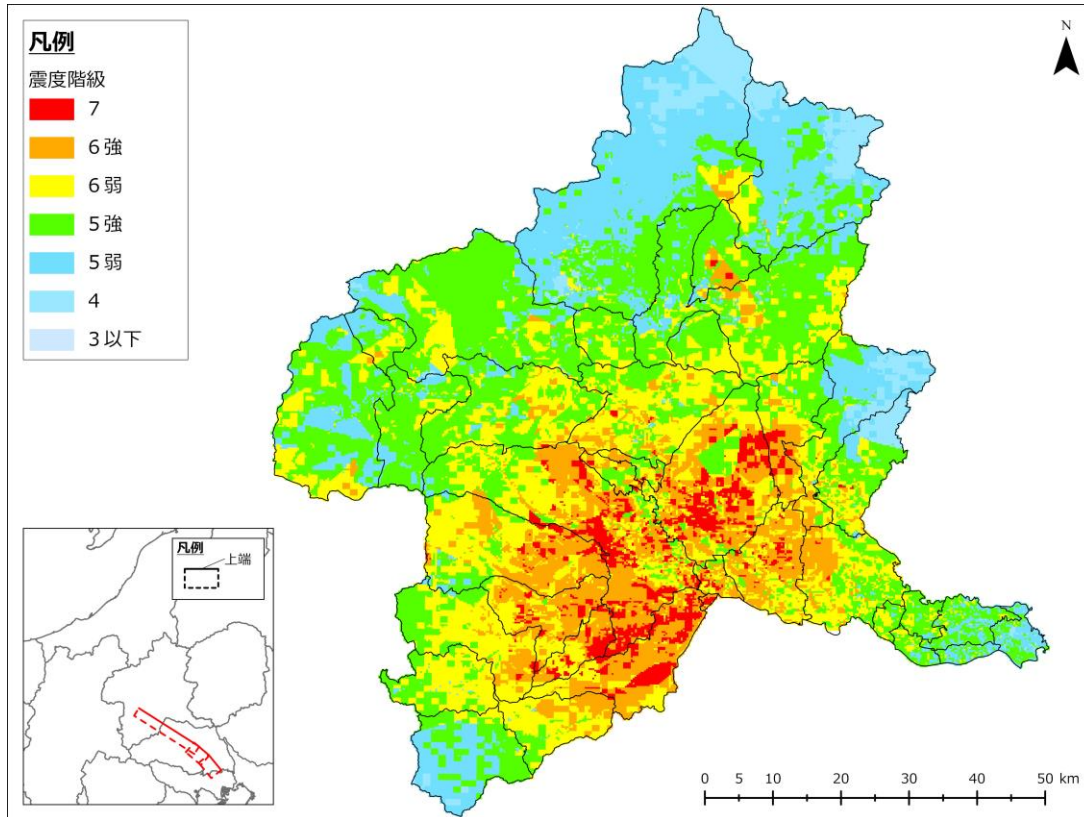
想定断層の位置



3 被害想定結果

(1) 深谷断層帯・綾瀬川断層 (M8.0※)

※深谷断層帯と綾瀬川断層が同時に活動した場合を想定



- ・ 県南部の揺れが大きく、震度7の揺れが想定される地域が比較的多くあります。
- ・ 震度6弱以上の揺れが想定される地域は県全域に及びます。

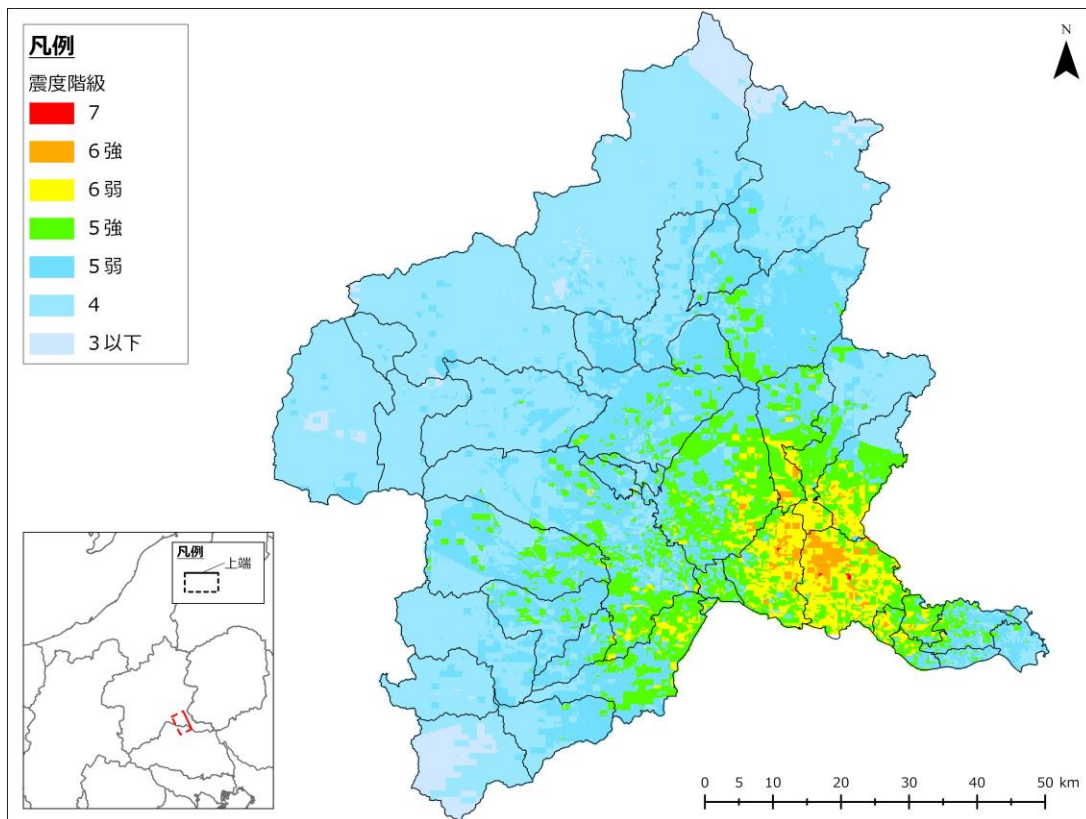
【主な被害想定概要】

建物被害	全壊	114,653棟
	半壊	141,924棟
	焼失	33,912棟
人的被害	死者	4,028人
	負傷者	30,386人
ライフライン被害	断水人口(直後)	1,335,828人
	下水道支障人口(直後)	67,682人
	停電(直後)	265,962軒
	不通回線(直後)	217,564回線
	都市ガス供給停止(直後)	97,712件
避難者	避難所避難者(直後)	169,844人
	避難所外避難者(直後)	113,230人

※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない
 ※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

(2) 太田断層 (M6.9)



- ・ 県東部の揺れが大きく、局地的に震度7の揺れが想定される地域があります。
- ・ 震度6弱以上の揺れが想定される地域は県東部に集中します。

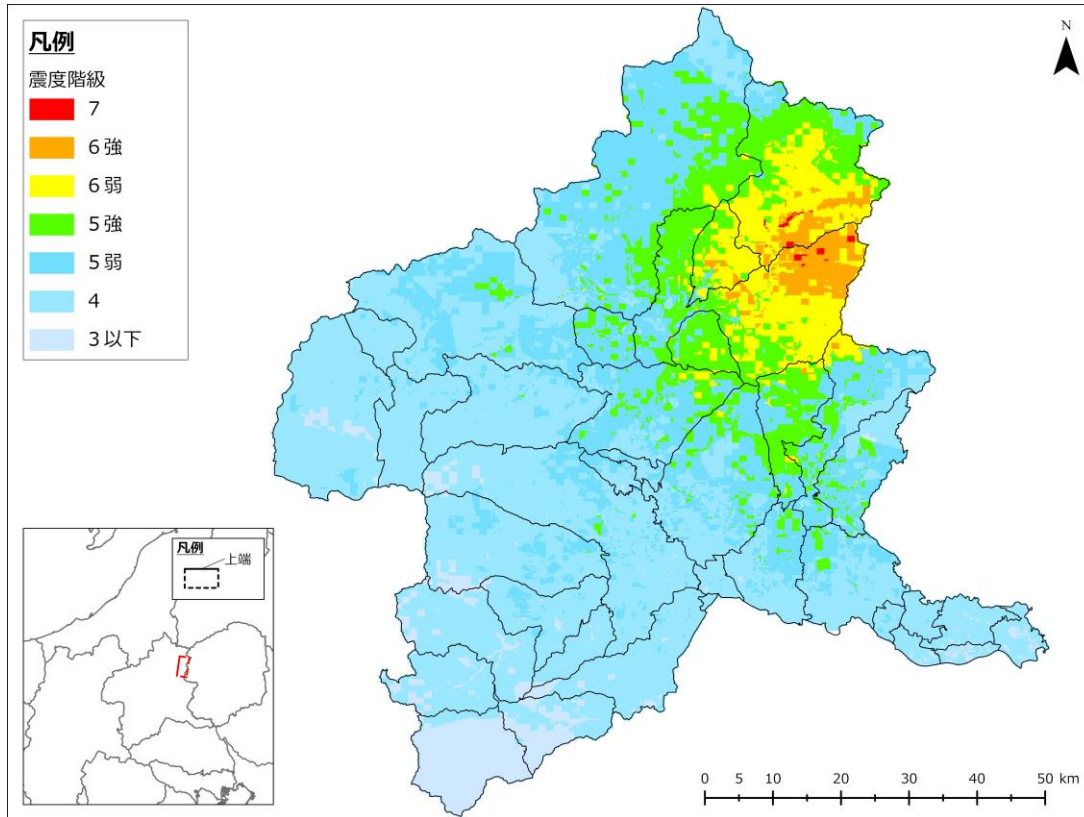
【主な被害想定概要】

建物被害	全壊	11,191 棟
	半壊	51,396 棟
	焼失	3,421 棟
人的被害	死者	187 人
	負傷者	4,980 人
ライフライン被害	断水人口 (直後)	134,409 人
	下水道支障人口 (直後)	16,694 人
	停電 (直後)	17,238 軒
	不通回線 (直後)	15,310 回線
	都市ガス供給停止 (直後)	1,743 件
避難者	避難所避難者 (直後)	22,826 人
	避難所外避難者 (直後)	15,217 人

※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない
※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

(3) 片品川左岸断層 (M6.8)



- 県北東部の揺れが大きく、局地的に震度7の揺れが想定される地域があります。
- 震度6弱以上の揺れが想定される地域は県北東部に集中します。

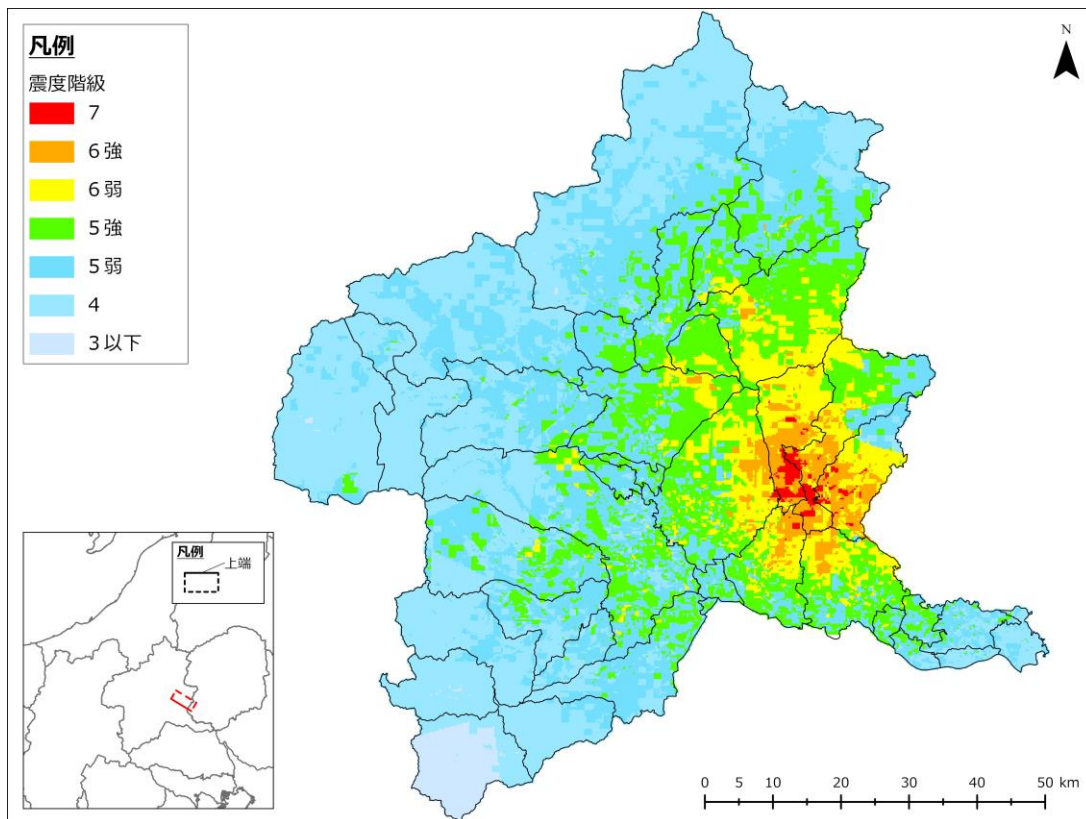
【主な被害想定概要】

建物被害	全壊	2,148棟
	半壊	6,587棟
	焼失	35棟
人的被害	死者	45人
	負傷者	632人
ライフライン被害	断水人口 (直後)	1,442人
	下水道支障人口 (直後)	3,502人
	停電 (直後)	2,529軒
	不通回線 (直後)	1,452回線
	都市ガス供給停止 (直後)	0件
避難者	避難所避難者 (直後)	2,311人
	避難所外避難者 (直後)	1,540人

※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない
 ※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

(4) 大久保断層 (M7.0)



- ・ 県東部の揺れが大きく、局地的に震度7の揺れが想定される地域があります。
- ・ 震度6弱以上の揺れが想定される地域は県東部に集中します。

【主な被害想定概要】

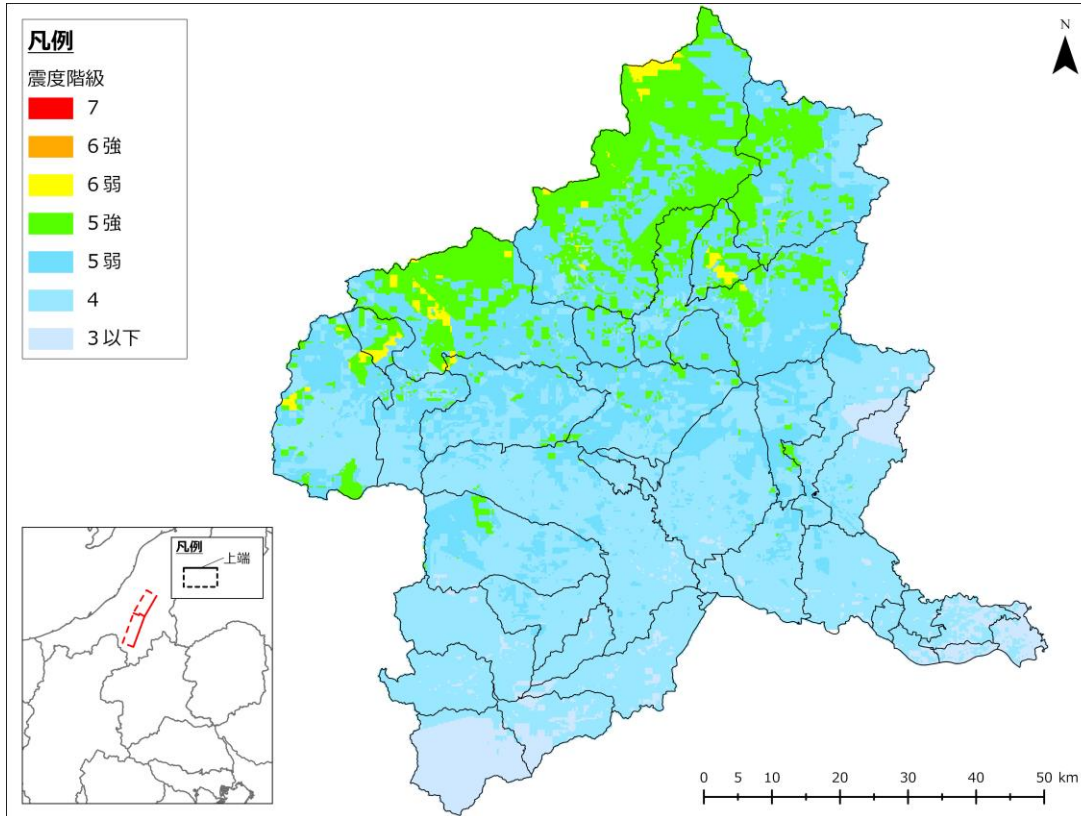
建物被害	全壊	27,075棟
	半壊	53,739棟
	焼失	12,646棟
人的被害	死者	1,006人
	負傷者	8,102人
ライフライン被害	断水人口(直後)	189,519人
	下水道支障人口(直後)	23,062人
	停電(直後)	60,611軒
	不通回線(直後)	47,115回線
	都市ガス供給停止(直後)	14,782件
避難者	避難所避難者(直後)	44,726人
	避難所外避難者(直後)	29,817人

※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない
※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

(5) 六日町断層帯 (M7.7※)

※北部・南部全体が同時に活動した場合を想定



- ・ 県北部の揺れが大きく、局地的に震度6弱の揺れが想定される地域があります。
- ・ 震度6弱以上の揺れが想定される地域は限定的です。

【主な被害想定概要】

建物被害	全壊	430棟
	半壊	1,984棟
	焼失	7棟
人的被害	死者	1人
	負傷者	93人
ライフライン被害	断水人口 (直後)	14人
	下水道支障人口 (直後)	1,465人
	停電 (直後)	36軒
	不通回線 (直後)	35回線
	都市ガス供給停止 (直後)	0件
避難者	避難所避難者 (直後)	688人
	避難所外避難者 (直後)	459人

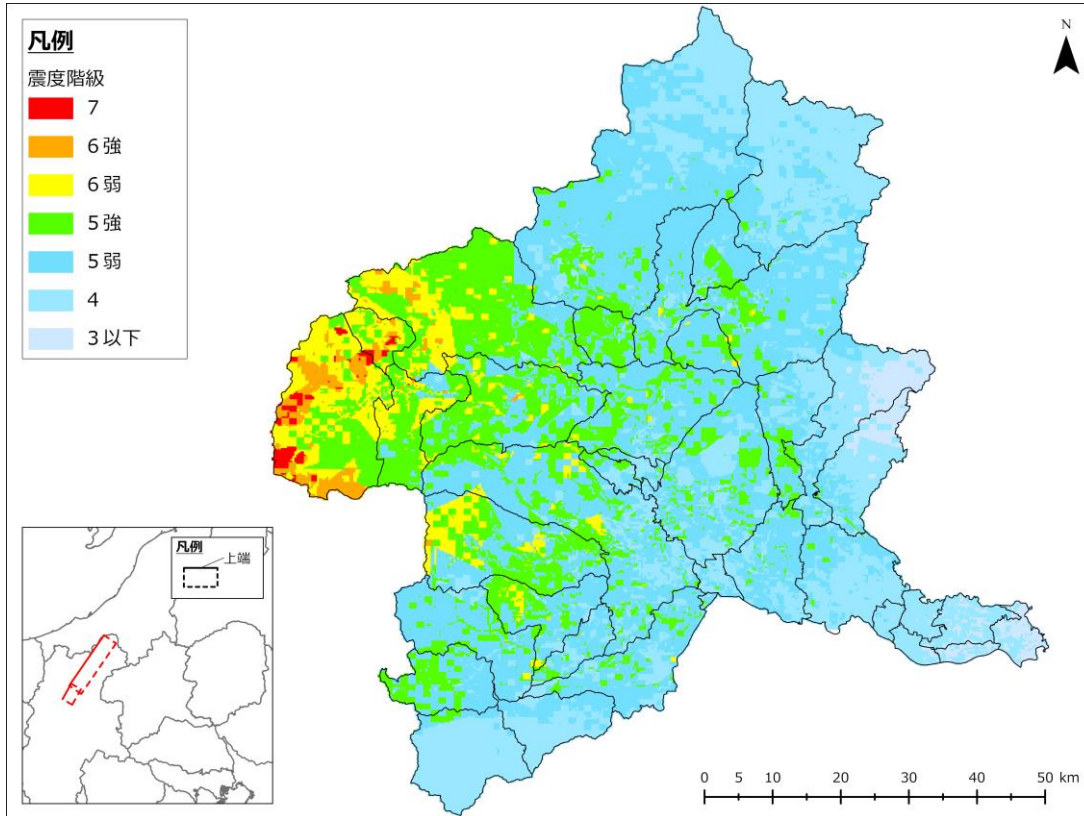
※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない

※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

(6) 長野盆地西縁断層帯 (M7.9※)

※2つの区間が同時に活動した場合を想定



- ・ 県西部の揺れが大きく、局地的に震度7の揺れが想定される地域があります。
- ・ 震度6弱以上の揺れが想定される地域は県西部に集中します。

【主な被害想定概要】

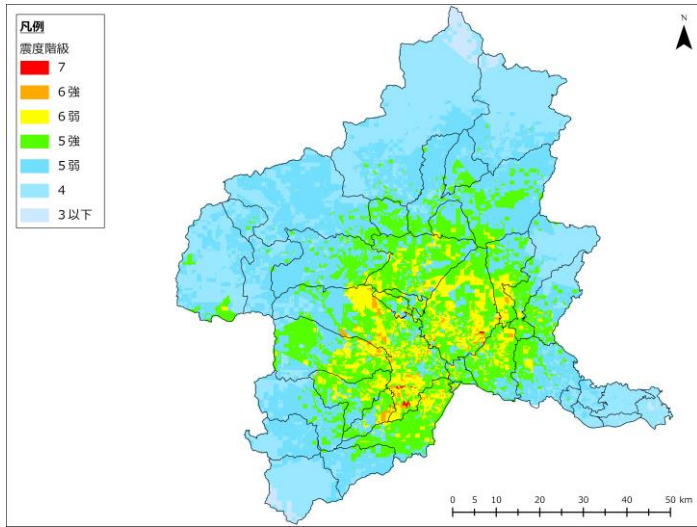
建物被害	全壊	1,794 棟
	半壊	7,476 棟
	焼失	233 棟
人的被害	死者	37 人
	負傷者	1,126 人
ライフライン被害	断水人口 (直後)	6,367 人
	下水道支障人口 (直後)	6,466 人
	停電 (直後)	2,399 軒
	不通回線 (直後)	1,972 回線
	都市ガス供給停止 (直後)	0 件
避難者	避難所避難者 (直後)	2,587 人
	避難所外避難者 (直後)	1,724 人

※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない

※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

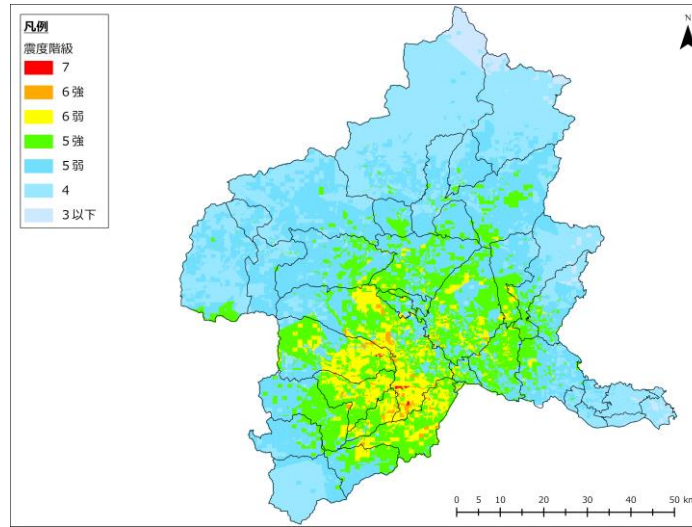
(7) 市町村直下の地震 (M6.9) (前橋市、高崎市、桐生市)



前橋市

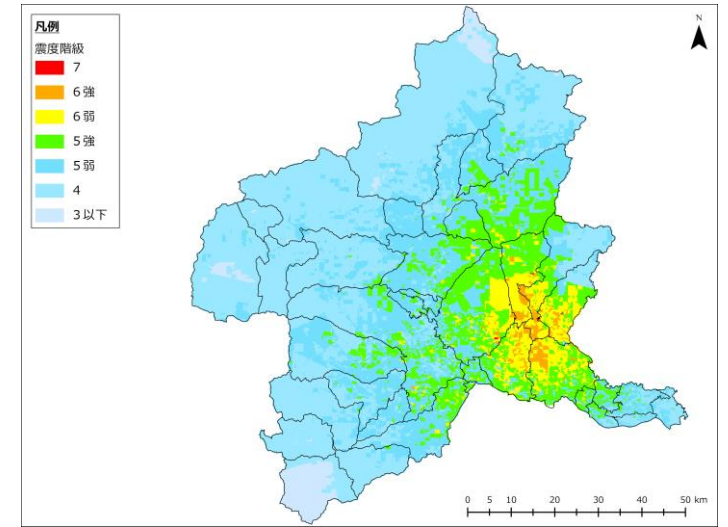
【主な被害想定概要】

建物被害	全壊・半壊	12,324 棟
	焼失	686 棟
人的被害	死者	45 人
	負傷者	1,337 人
避難者	避難所避難者 (直後)	4,779 人
	避難所外避難者 (直後)	3,186 人



高崎市

建物被害	全壊・半壊	18,361 棟
	焼失	1,535 棟
人的被害	死者	38 人
	負傷者	1,440 人
避難者	避難所避難者 (直後)	7,406 人
	避難所外避難者 (直後)	4,937 人



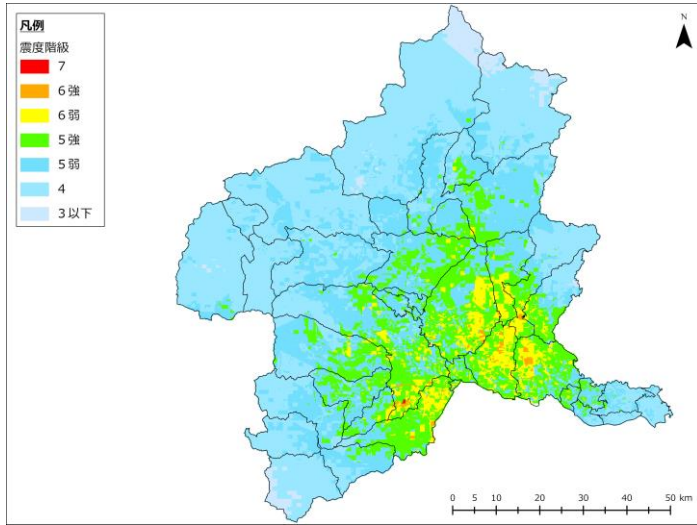
桐生市

建物被害	全壊・半壊	11,009 棟
	焼失	4,230 棟
人的被害	死者	131 人
	負傷者	1,385 人
避難者	避難所避難者 (直後)	7,399 人
	避難所外避難者 (直後)	4,933 人

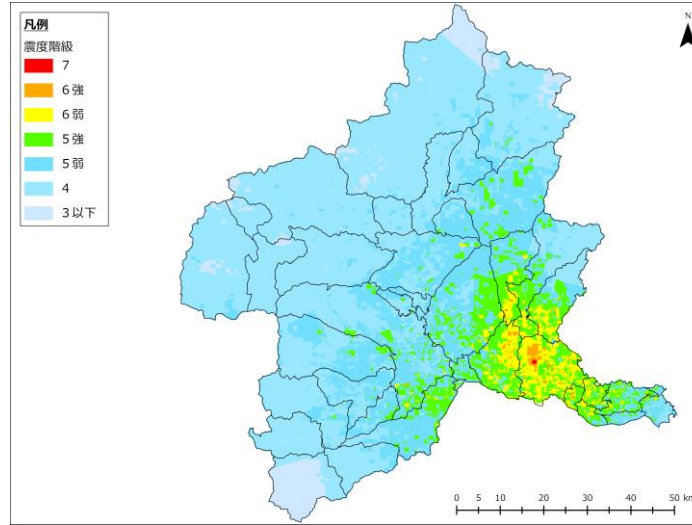
※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない、
 ※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

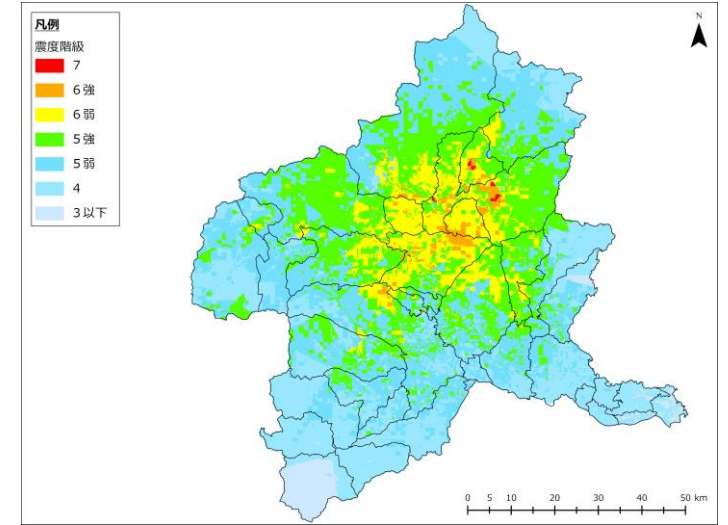
(7) 市町村直下の地震 (M6.9) (伊勢崎市、太田市、沼田市)



伊勢崎市



太田市



沼田市

【主な被害想定概要】

建物被害	全壊・半壊	8,248 棟
	焼失	299 棟
人的被害	死者	19 人
	負傷者	903 人
避難者	避難所避難者 (直後)	2,883 人
	避難所外避難者 (直後)	1,922 人

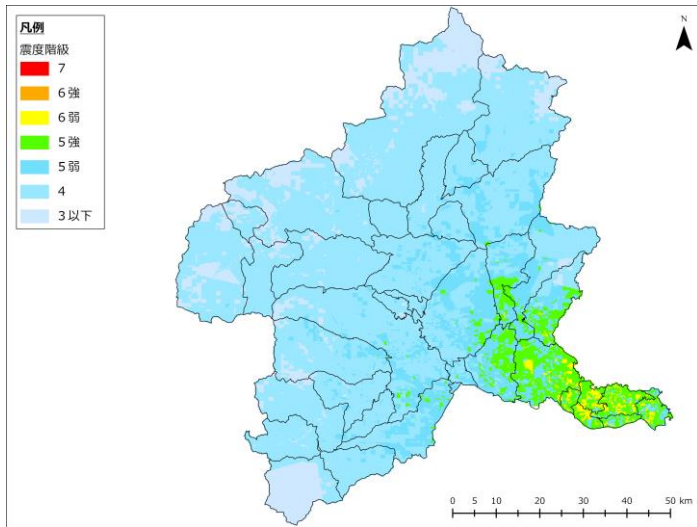
建物被害	全壊・半壊	9,152 棟
	焼失	397 棟
人的被害	死者	46 人
	負傷者	1,000 人
避難者	避難所避難者 (直後)	3,667 人
	避難所外避難者 (直後)	2,445 人

建物被害	全壊・半壊	4,598 棟
	焼失	2,090 棟
人的被害	死者	42 人
	負傷者	673 人
避難者	避難所避難者 (直後)	2,578 人
	避難所外避難者 (直後)	1,718 人

※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない、
 ※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

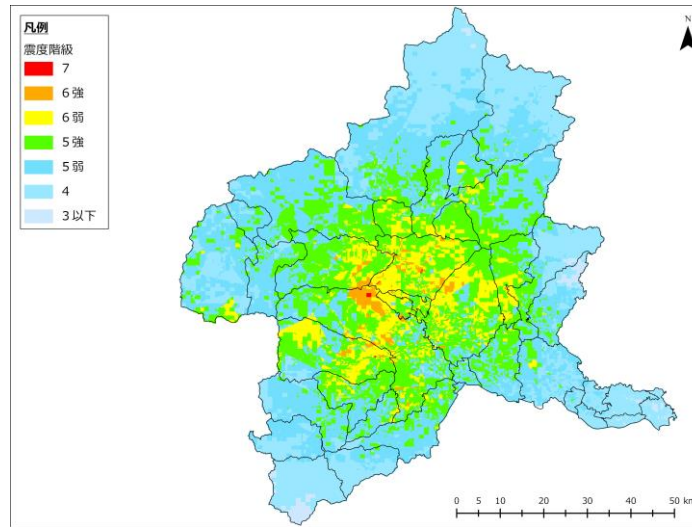
(7) 市町村直下の地震 (M6.9) (館林市、渋川市、藤岡市)



館林市

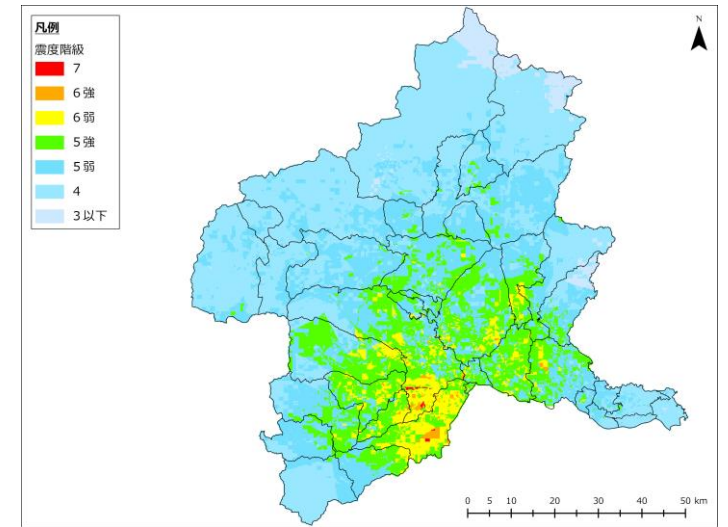
【主な被害想定概要】

建物被害	全壊・半壊	2,288 棟
	焼失	160 棟
人的被害	死者	4 人
	負傷者	173 人
避難者	避難所避難者 (直後)	739 人
	避難所外避難者 (直後)	492 人



渋川市

建物被害	全壊・半壊	5,871 棟
	焼失	77 棟
人的被害	死者	28 人
	負傷者	657 人
避難者	避難所避難者 (直後)	1,663 人
	避難所外避難者 (直後)	1,109 人



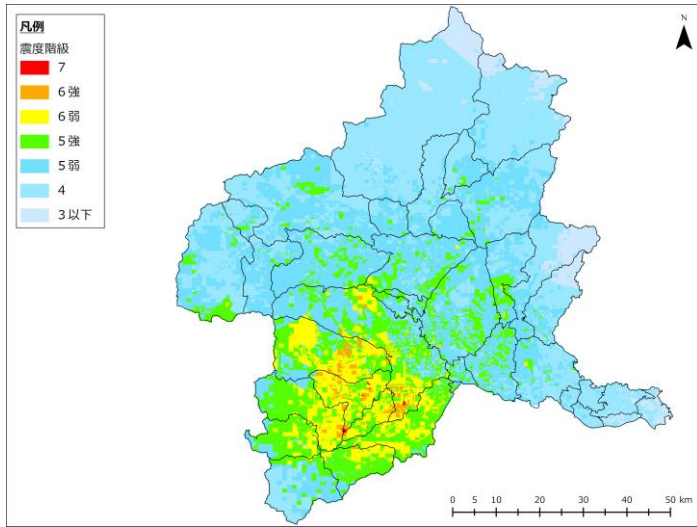
藤岡市

建物被害	全壊・半壊	3,786 棟
	焼失	1,589 棟
人的被害	死者	30 人
	負傷者	538 人
避難者	避難所避難者 (直後)	2,454 人
	避難所外避難者 (直後)	1,636 人

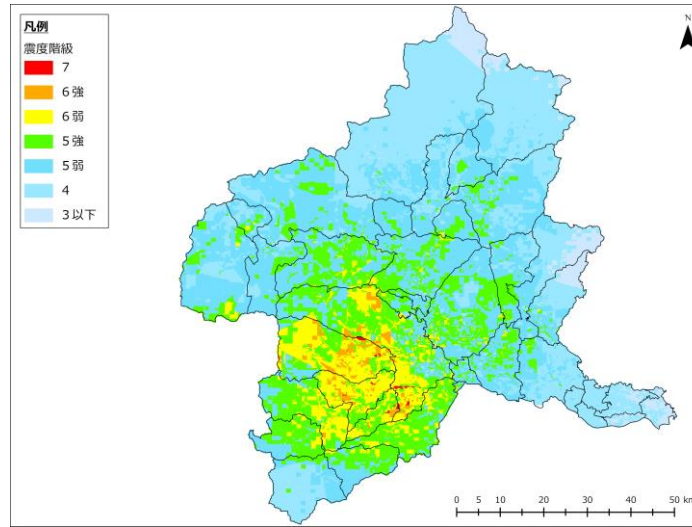
※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない、
 ※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

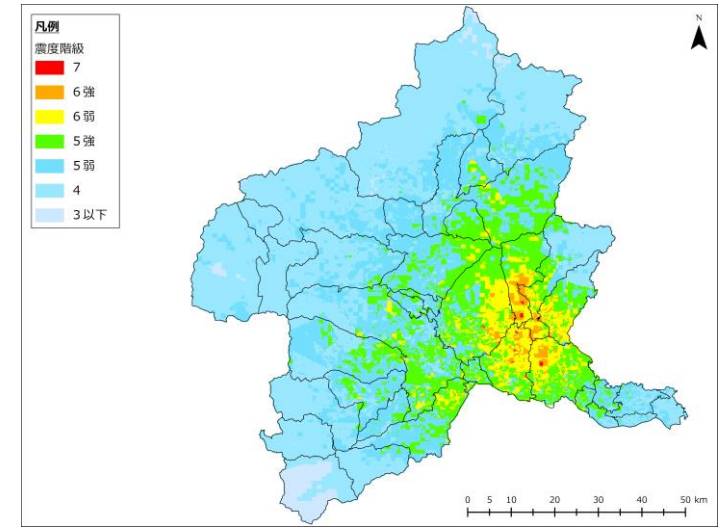
(7) 市町村直下の地震 (M6.9) (富岡市、安中市、みどり市)



富岡市



安中市



みどり市

【主な被害想定概要】

建物被害	全壊・半壊	4,663棟
	焼失	590棟
人的被害	死者	36人
	負傷者	616人
避難者	避難所避難者(直後)	1,796人
	避難所外避難者(直後)	1,197人

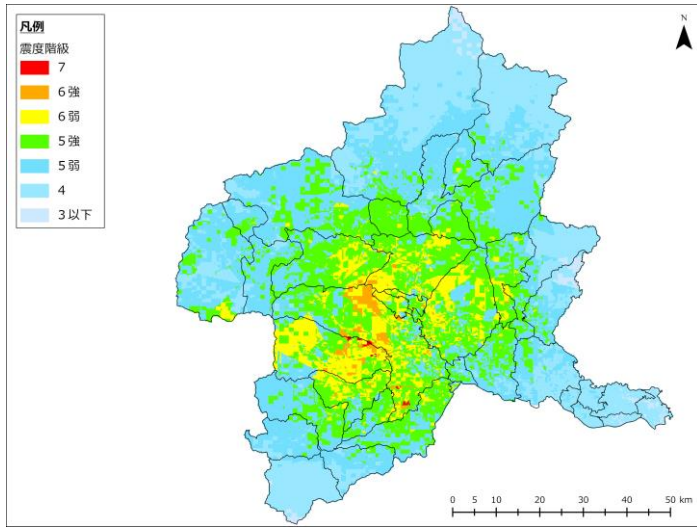
建物被害	全壊・半壊	6,234棟
	焼失	460棟
人的被害	死者	76人
	負傷者	837人
避難者	避難所避難者(直後)	2,068人
	避難所外避難者(直後)	1,379人

建物被害	全壊・半壊	3,449棟
	焼失	317棟
人的被害	死者	34人
	負傷者	518人
避難者	避難所避難者(直後)	1,392人
	避難所外避難者(直後)	928人

※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない、
 ※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

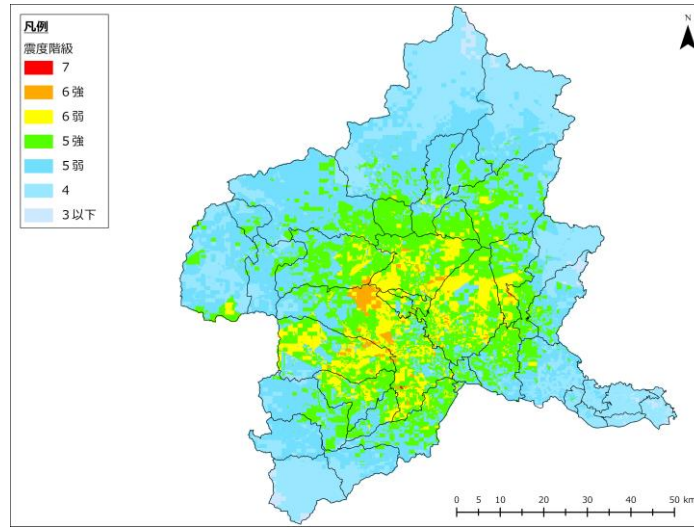
(7) 市町村直下の地震 (M6.9) (榛東村、吉岡町、上野村)



榛東村

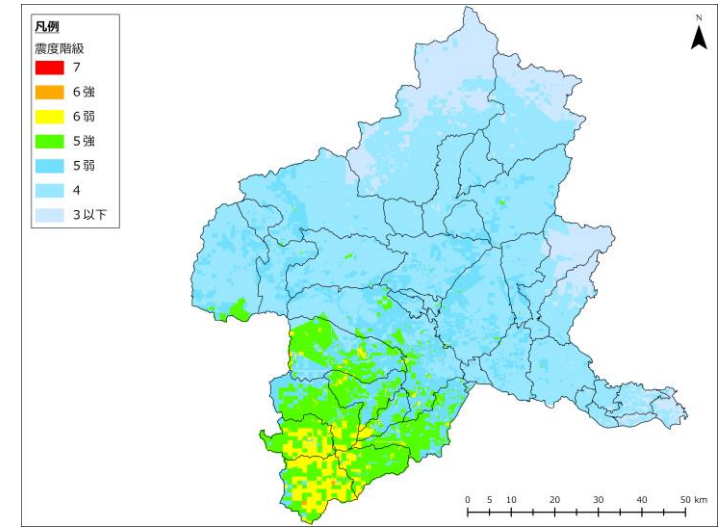
【主な被害想定概要】

建物被害	全壊・半壊	494棟
	焼失	1棟
人的被害	死者	3人
	負傷者	73人
避難者	避難所避難者(直後)	117人
	避難所外避難者(直後)	78人



吉岡町

建物被害	全壊・半壊	489棟
	焼失	4棟
人的被害	死者	1人
	負傷者	68人
避難者	避難所避難者(直後)	133人
	避難所外避難者(直後)	89人



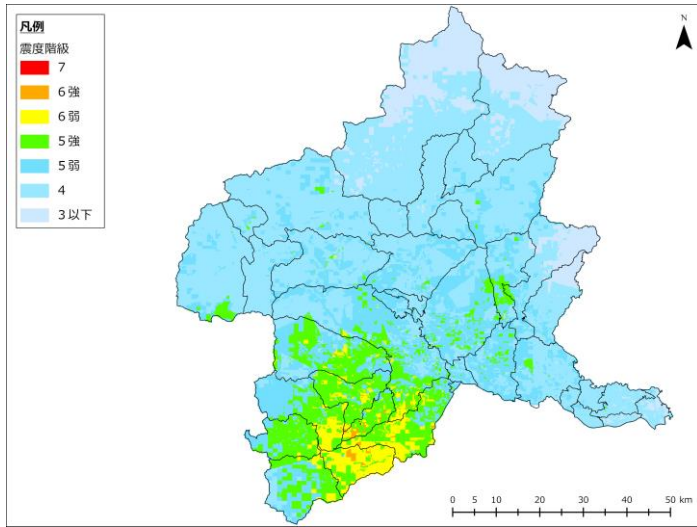
上野村

建物被害	全壊・半壊	31棟
	焼失	0棟
人的被害	死者	0人
	負傷者	9人
避難者	避難所避難者(直後)	3人
	避難所外避難者(直後)	2人

※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない、
 ※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

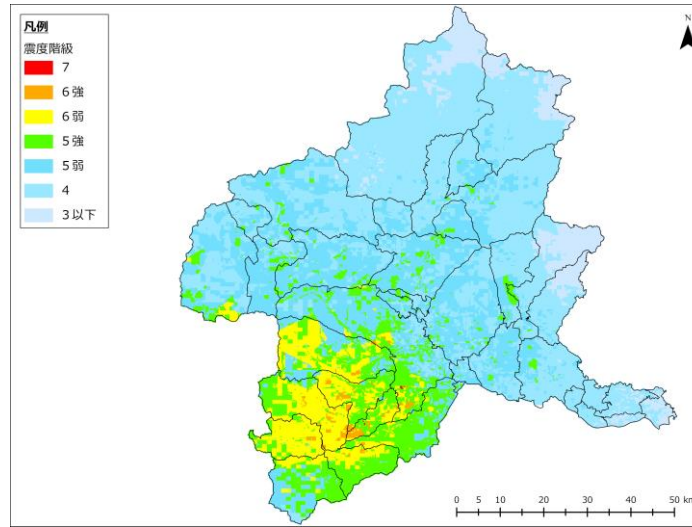
(7) 市町村直下の地震 (M6.9) (神流町、下仁田町、南牧村)



神流町

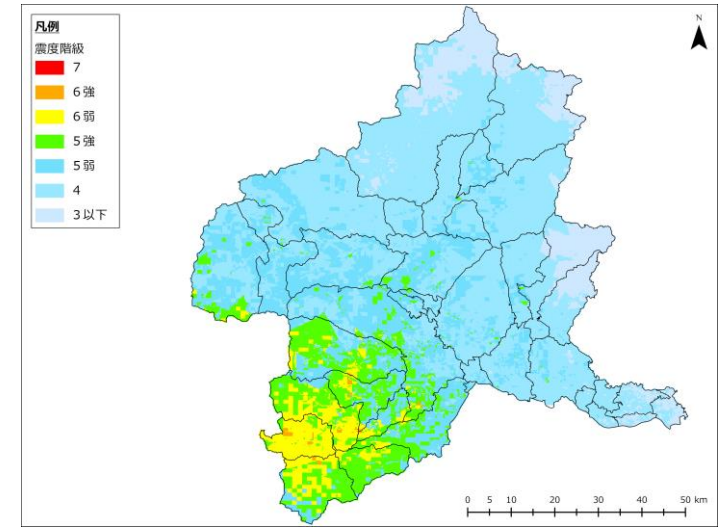
【主な被害想定概要】

建物被害	全壊・半壊	265棟
	焼失	0棟
人的被害	死者	1人
	負傷者	38人
避難者	避難所避難者(直後)	20人
	避難所外避難者(直後)	13人



下仁田町

建物被害	全壊・半壊	1,499棟
	焼失	2棟
人的被害	死者	9人
	負傷者	186人
避難者	避難所避難者(直後)	190人
	避難所外避難者(直後)	127人



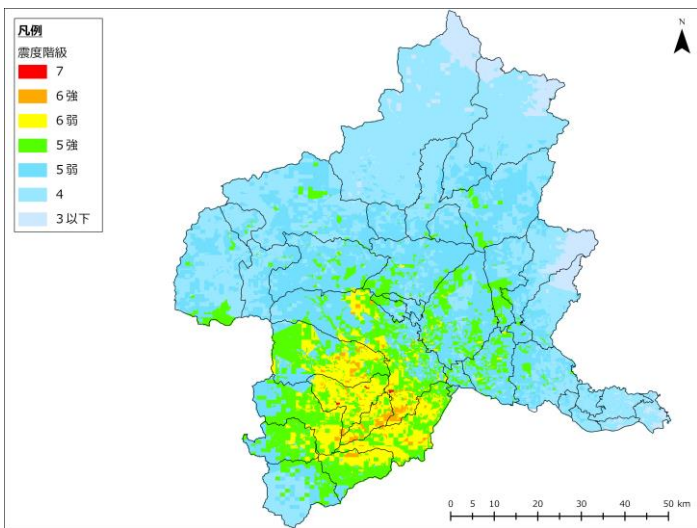
南牧村

建物被害	全壊・半壊	611棟
	焼失	1棟
人的被害	死者	5人
	負傷者	75人
避難者	避難所避難者(直後)	47人
	避難所外避難者(直後)	31人

※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない、
 ※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

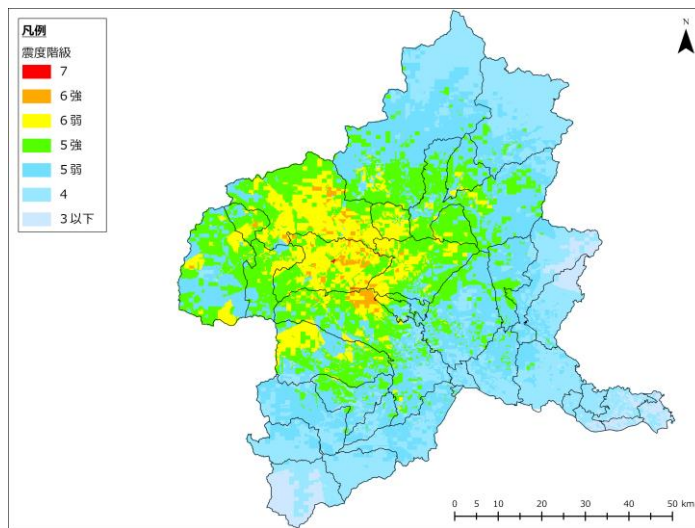
(7) 市町村直下の地震 (M6.9) (甘楽町、中之条町、長野原町)



甘楽町

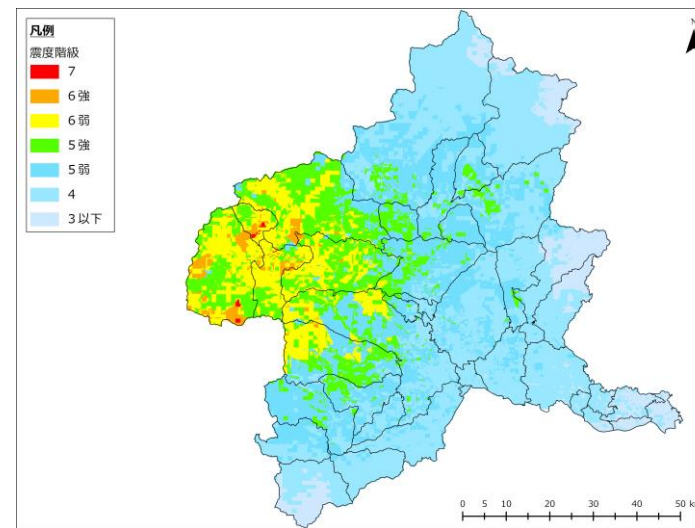
【主な被害想定概要】

建物被害	全壊・半壊	1,283棟
	焼失	30棟
人的被害	死者	7人
	負傷者	165人
避難者	避難所避難者 (直後)	297人
	避難所外避難者 (直後)	198人



中之条町

建物被害	全壊・半壊	2,424棟
	焼失	33棟
人的被害	死者	21人
	負傷者	276人
避難者	避難所避難者 (直後)	502人
	避難所外避難者 (直後)	334人



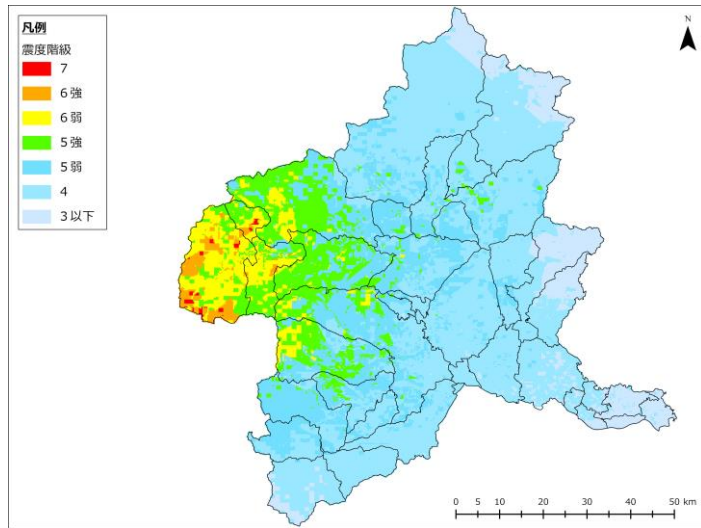
長野原町

建物被害	全壊・半壊	677棟
	焼失	9棟
人的被害	死者	7人
	負傷者	87人
避難者	避難所避難者 (直後)	89人
	避難所外避難者 (直後)	60人

※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない、
 ※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

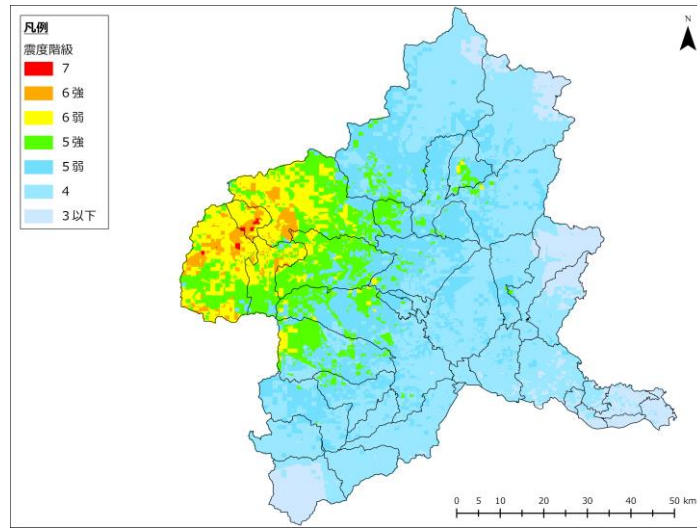
(7) 市町村直下の地震 (M6.9) (孺恋村、草津町、高山村)



孺恋村

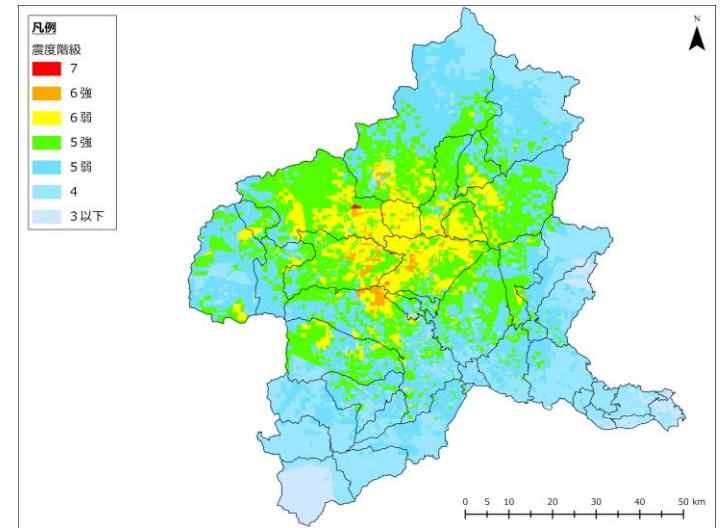
【主な被害想定概要】

建物被害	全壊・半壊	1,152 棟
	焼失	13 棟
人的被害	死者	7 人
	負傷者	316 人
避難者	避難所避難者 (直後)	110 人
	避難所外避難者 (直後)	73 人



草津町

建物被害	全壊・半壊	1,411 棟
	焼失	235 棟
人的被害	死者	42 人
	負傷者	235 人
避難者	避難所避難者 (直後)	905 人
	避難所外避難者 (直後)	603 人



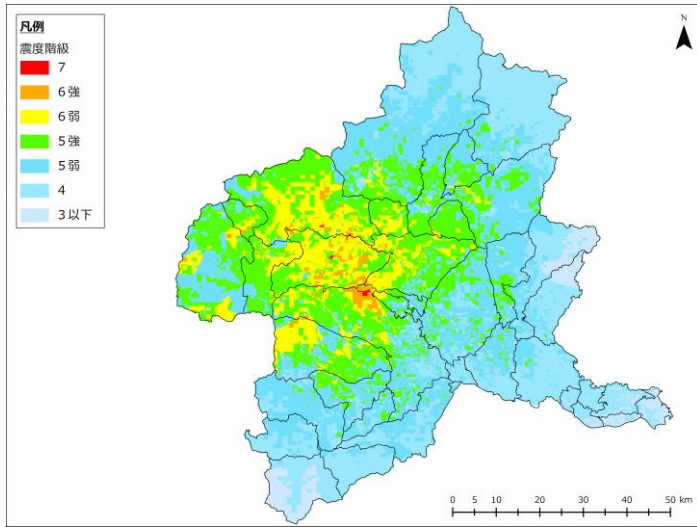
高山村

建物被害	全壊・半壊	392 棟
	焼失	1 棟
人的被害	死者	2 人
	負傷者	49 人
避難者	避難所避難者 (直後)	61 人
	避難所外避難者 (直後)	41 人

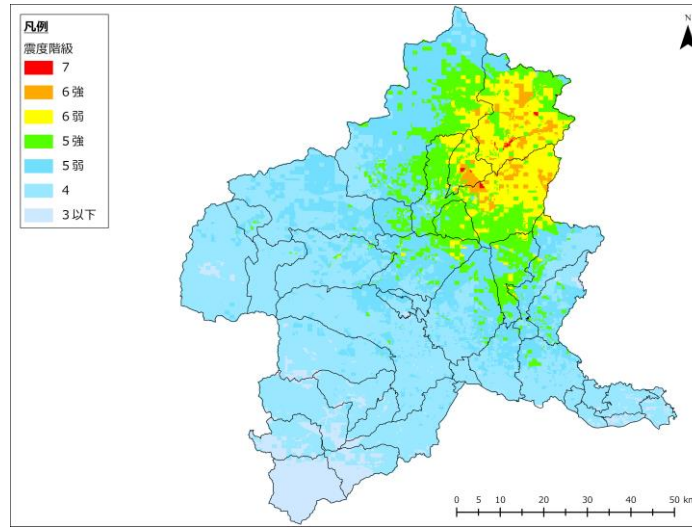
※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない、
 ※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

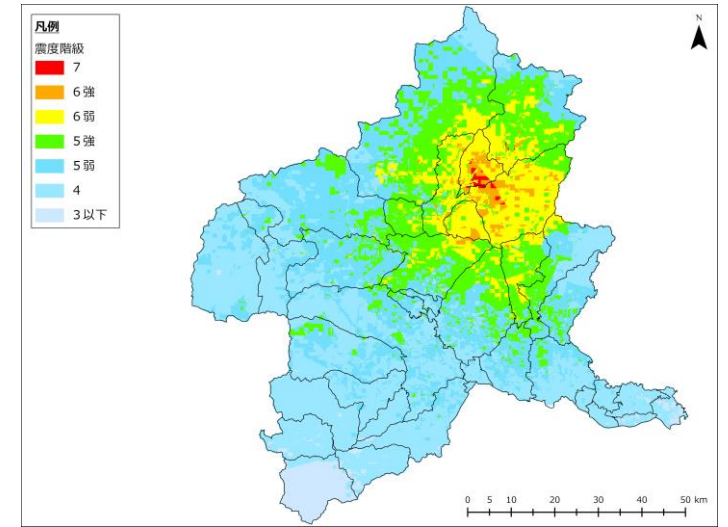
(7) 市町村直下の地震 (M6.9) (東吾妻町、片品村、川場村)



東吾妻町



片品村



川場村

【主な被害想定概要】

建物被害	全壊・半壊	1,953棟
	焼失	14棟
人的被害	死者	13人
	負傷者	235人
避難者	避難所避難者(直後)	349人
	避難所外避難者(直後)	233人

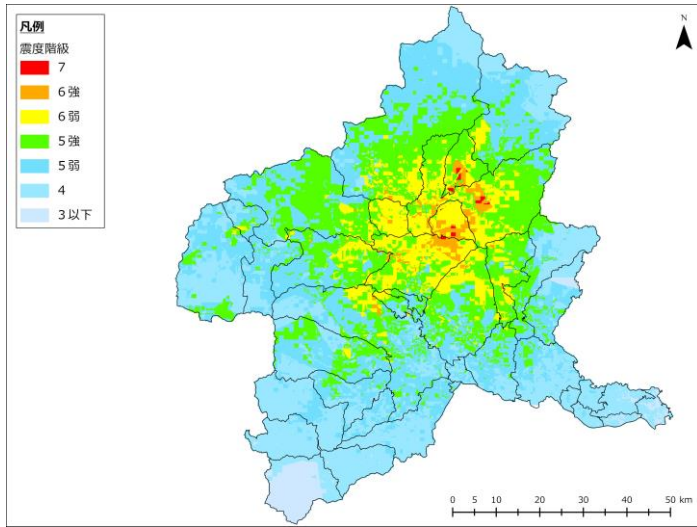
建物被害	全壊・半壊	1,576棟
	焼失	13棟
人的被害	死者	30人
	負傷者	179人
避難者	避難所避難者(直後)	359人
	避難所外避難者(直後)	239人

建物被害	全壊・半壊	451棟
	焼失	3棟
人的被害	死者	4人
	負傷者	66人
避難者	避難所避難者(直後)	103人
	避難所外避難者(直後)	68人

※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない、
 ※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

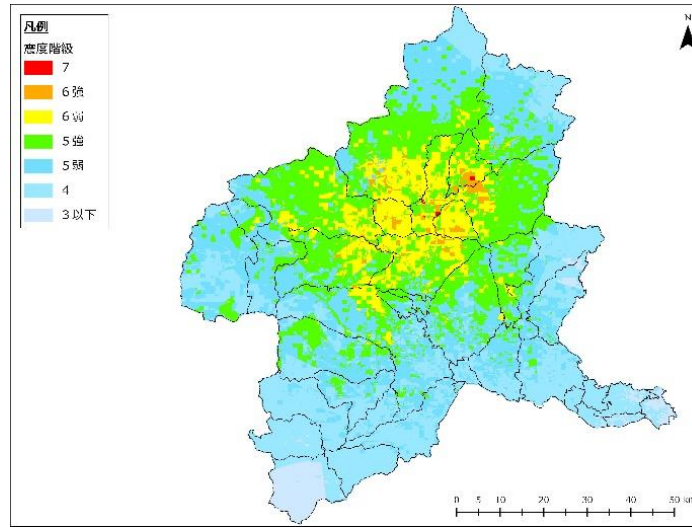
(7) 市町村直下の地震 (M6.9) (昭和村、みなかみ町、玉村町)



昭和村

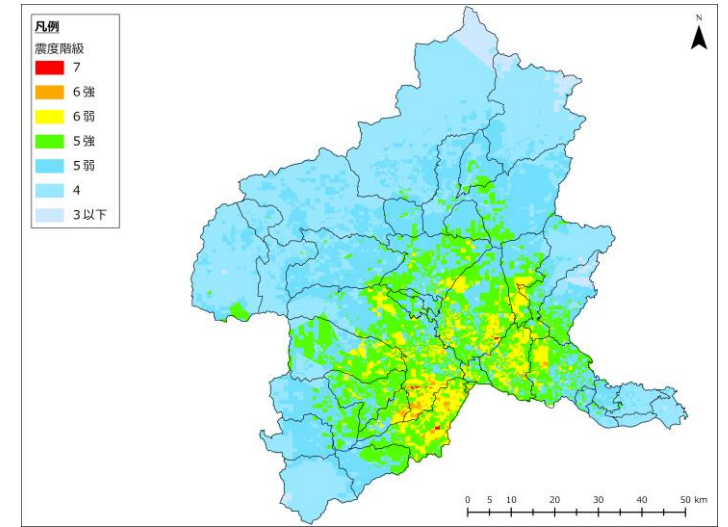
【主な被害想定概要】

建物被害	全壊・半壊	1,262 棟
	焼失	39 棟
人的被害	死者	10 人
	負傷者	156 人
避難者	避難所避難者 (直後)	336 人
	避難所外避難者 (直後)	224 人



みなかみ町

建物被害	全壊・半壊	2,011 棟
	焼失	4 棟
人的被害	死者	14 人
	負傷者	199 人
避難者	避難所避難者 (直後)	355 人
	避難所外避難者 (直後)	236 人



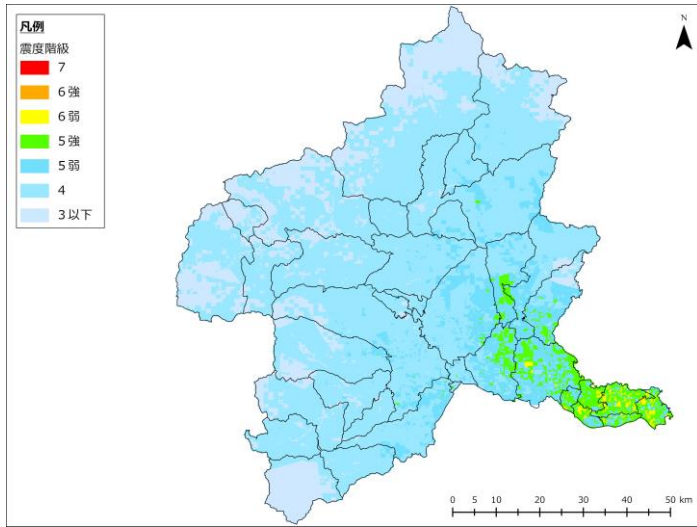
玉村町

建物被害	全壊・半壊	739 棟
	焼失	2 棟
人的被害	死者	1 人
	負傷者	88 人
避難者	避難所避難者 (直後)	185 人
	避難所外避難者 (直後)	123 人

※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない、
 ※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

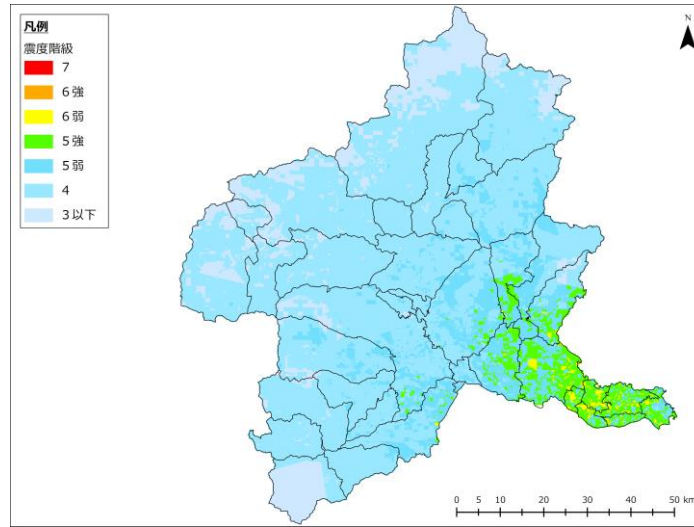
(7) 市町村直下の地震 (M6.9) (板倉町、明和町、千代田町)



板倉町

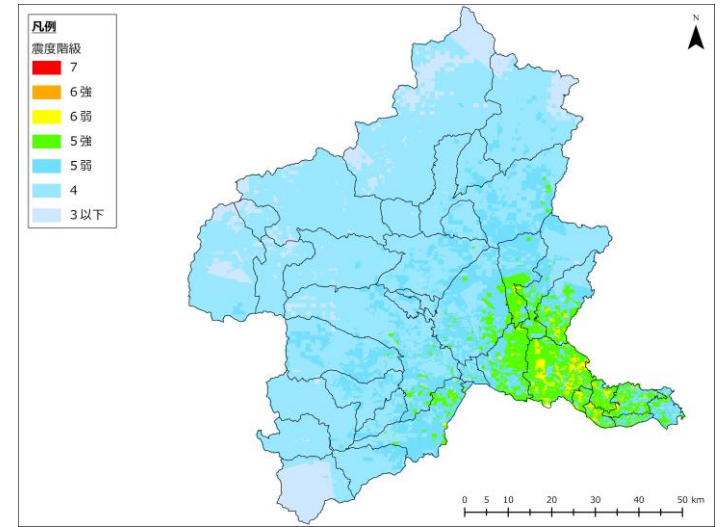
【主な被害想定概要】

建物被害	全壊・半壊	916棟
	焼失	9棟
人的被害	死者	1人
	負傷者	36人
避難者	避難所避難者(直後)	188人
	避難所外避難者(直後)	125人



明和町

建物被害	全壊・半壊	2,553棟
	焼失	5棟
人的被害	死者	0人
	負傷者	13人
避難者	避難所避難者(直後)	568人
	避難所外避難者(直後)	379人



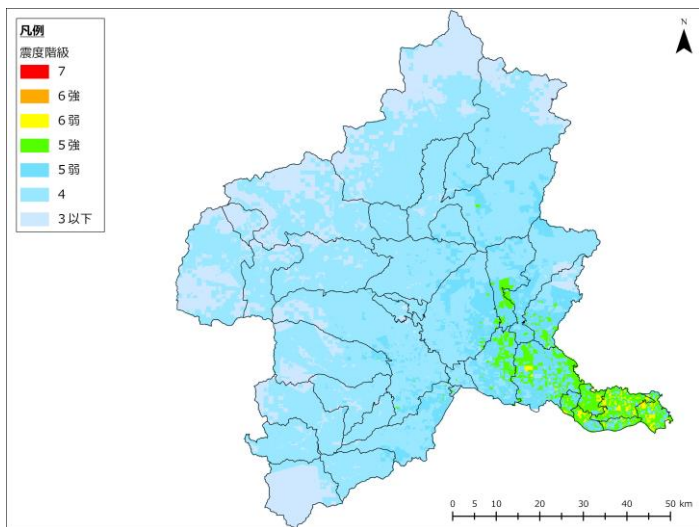
千代田町

建物被害	全壊・半壊	1,733棟
	焼失	3棟
人的被害	死者	0人
	負傷者	41人
避難者	避難所避難者(直後)	418人
	避難所外避難者(直後)	279人

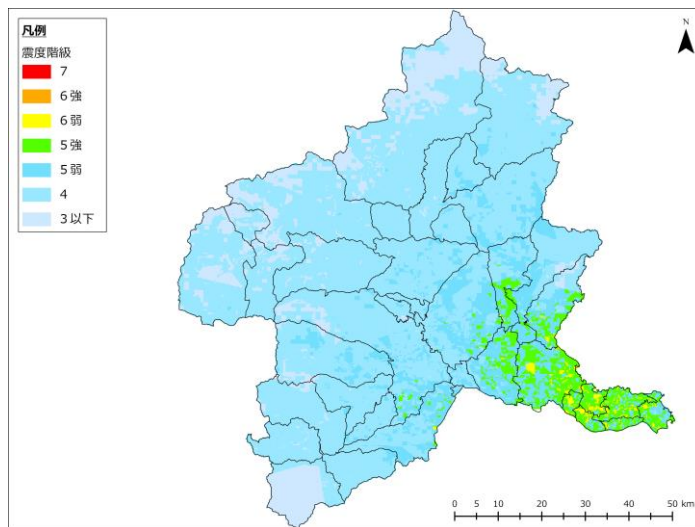
※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない、
 ※直後は発災直後の値を示す

3 被害想定結果

(7) 市町村直下の地震 (M6.9) (大泉町、邑楽町)



大泉町



邑楽町

【主な被害想定概要】

建物被害	全壊・半壊	2,696 棟
	焼失	14 棟
人的被害	死者	2 人
	負傷者	122 人
避難者	避難所避難者 (直後)	858 人
	避難所外避難者 (直後)	572 人

建物被害	全壊・半壊	2,610 棟
	焼失	27 棟
人的被害	死者	2 人
	負傷者	87 人
避難者	避難所避難者 (直後)	702 人
	避難所外避難者 (直後)	468 人

※いずれも冬18時強風の条件で算出した値であり、必ずしも最大値ではない、
 ※直後は発災直後の値を示す

4 調査結果の活用

4 調査結果の活用

(1) 地震防災対策の効果検証

前回の地震被害想定調査結果と本調査の次の結果を比較検討し、前回の地震被害想定調査以降の群馬県の地震防災施策の効果について評価を行った。

- ・建物被害
- ・人的被害

建物被害

	前回調査					本調査の建物データに 前回調査手法を適用した場合				
	前回調査の 建物【棟数】	全壊 【棟数】	全壊率 【%】	半壊 【棟数】	半壊率 【%】	本調査の 建物【棟数】	全壊 【棟数】	全壊率 【%】	半壊 【棟数】	半壊率 【%】
関東平野北 西縁断層帯	1,146,471	55,606	4.8	125,222	10.9	1,174,493	45,477	3.9	105,699	9.0
太田断層	1,146,471	21,074	1.8	51,209	4.4	1,174,493	15,763	1.3	40,979	3.5
片品川左岸 断層	1,146,471	105	0.0	820	0.0	1,174,493	123	0.0	909	0.1

4 調査結果の活用

(1) 地震防災対策の効果検証

人的被害

	前回調査			本調査の人口データに 前回調査手法を適用した場合		
	前回調査の 人口【人】	死者数 【人】	死者数の割合 【%】	本調査の 人口【人】	死者数 【人】	死者数の割合 【%】
関東平野北 西縁断層帯	2,008,068	2,886	0.14	1,900,834	2,485	0.13
太田断層	2,008,068	1,097	0.05	1,900,834	909	0.05
片品川左岸 断層	2,008,068	3	0.00	1,900,834	6	0.00

4 調査結果の活用

(2) 防災施策への活用

① 県の防災施策への活用

- ・ 想定地震の被災シナリオ
- ・ 想定地震のタイムライン

② 市町村の防災施策への活用

- ・ 市町村ごとの地震被害想定結果一覧

③ 県民に対する情報提供

- ・ 動画
- ・ パンフレット
- ・ 調査報告書／概要版

4 調査結果の活用

(2) 防災施策への活用

① 県の防災施策への活用

■ 想定地震の被災シナリオ

【被災シナリオ：深谷断層帯-綾瀬川断層の地震（冬18時・強風時）】
（全県：災害対策本部版）

■ 定量データに基づく被害想定
□ 定性的な被害様相

項目	～19時 (地震発生後1時間以内)	～21時 (3時間以内)	～0時 (6時間以内)	～翌6時 (12時間以内)	2日目	3～4日目	7～8日目	～1か月目まで	備考
地震動等	□冬18時頃、群馬県南部を震源とするマグニチュード8.0の地震が発生 ■前橋市、高崎市等で震度7の揺れを観測	□最大震度5弱～6弱の余震発生					□余震が次第に減少		
建物被害	建物倒壊	□県東部、南部を中心に揺れによる建物倒壊が発生 □老朽化した耐震性の低い木造建物が倒壊する □ビルやマンションの倒壊や中間階の圧潰が発生する ■全県で全壊約10万棟、半壊約10万棟発生	□余震や積雪により、本震により損傷した建物の被害が拡大する						
	液状化	□県東部、南部を中心に広く液状化による被害が発生 ■全県で全壊約1万棟、半壊約4万棟発生	□液状化 地域では、住宅の傾斜等、継続的な居住や日常生活が困難化						
	土砂災害	□広範囲にわたり土砂災害が発生 ■全県で全壊約2百棟、半壊約3百棟発生	□余震によりさらに土砂災害が発生し建物の被害が拡大する □地震後に豪雨等が発生した場合は、より被害が拡大する可能性あり						
	火災	□住宅や事業所の火気・電気器具等から出火し、同時多発火災が発生 □気象条件(強風)により被害の拡大可能性あり ■全県で約3百件の炎上出火	□消火活動支障等により延焼が拡大する □人口密集地を中心に火災が多数発生 □危険物の爆発、漏洩等による出火が発生する可能性あり			■全県で約3万棟が焼失	□電力の復旧により、通電火災が発生するおそれ		

※一部抜粋

4 調査結果の活用

(2) 防災施策への活用

① 県の防災施策への活用

■ 想定地震のタイムライン

【全県：災害対策本部地震時タイムライン：深谷断層帯-綾瀬川断層の地震（冬18時・強風時）】

(※) は市町村が中心となって実施することが予想される業務

計画の節名	～19時 (地震発生後1時間以内)	～21時 (3時間以内)	～0時 (6時間以内)	～翌6時 (12時間以内)	2日目	3～4日目	7～8日目	～1か月目まで	備考
1 災害情報の収集・連絡	県施設（防災拠点等）情報把握	県管理施設（道路・河川・砂防）状況把握			県施設被害状況把握	道路等公共土木施設の復旧状況把握			
	火災の発生状況把握				インフラ被害等のとりまとめ				
	人的被害、住家被害、孤立集落等の把握								
						農地・農業用施設の被災状況把握			
		避難者数・内訳の把握							
		医療機関の被災状況・受入可否							
			市町村被災状況把握						
2 通信手段の確保	防災行政無線の疎通確認								
	被災地との通信インフラ確認								
		非常通信の取扱い要請	アマチュア無線に協力要請						
3 災害対策本部の設置	災害対策本部の設置								
	第1回災害対策本部会議の開催	第2回災害対策本部会議の開催			災害対策本部会議の開催（随時）				
	関係機関連絡員の受入れ体制整備								
4 職員の非常参集	職員の登庁（夜間・休日）	職員配備体制の強化							
	職員の非常配備								
	職員の安否確認								
	稼働可能職員数の確認								

※一部抜粋

4 調査結果の活用

(2) 防災施策への活用

② 市町村の防災施策への活用

前橋市 地震被害想定結果一覧

【想定地震：深谷断層帯・綾瀬川断層】

大項目	中項目	小項目	細項目	単位	冬18時 ・強風	冬18時 ・平均風速	冬5時 ・強風	冬5時 ・平均風速	夏12時 ・強風	夏12時 ・平均風速	
建物被害	揺れ・液状化・土砂災害・地震火災	揺れ	全壊	棟	28,650	28,650	28,650	28,650	28,650	28,650	
			半壊	棟	20,304	20,431	20,988	21,064	20,912	20,971	
		液状化	全壊	棟	1,183	1,183	1,183	1,183	1,183	1,183	1,183
			半壊	棟	3,689	3,725	3,917	3,930	3,893	3,908	
		土砂災害	全壊	棟	1	1	1	1	1	1	1
			半壊	棟	2	2	2	2	2	2	2
		計	全壊	棟	29,834	29,834	29,834	29,834	29,834	29,834	29,834
			半壊	棟	23,995	24,159	24,907	24,997	24,807	24,882	
		地震火災	炎上出火件数	件	84	84	36	36	46	46	
			焼失棟数	棟	7,436	6,753	3,640	3,095	3,989	3,647	
人的被害	死者数	建物倒壊		人	935	935	1,447	1,447	802	802	
			屋内収容物の移動・転倒、屋内落下物	人	75	75	125	125	69	69	
		土砂災害	人	0	0	0	0	0	0		
		地震火災	人	105	95	73	62	50	46		
		屋外転倒物・落下物	人	1	1	0	0	0	0		
		計	人	1,040	1,031	1,520	1,509	853	849		
	負傷者数	建物倒壊		人	7,068	7,091	7,210	7,221	8,889	8,903	
			屋内収容物の移動・転倒、屋内落下物	人	1,443	1,443	1,873	1,873	1,491	1,491	
		土砂災害	人	0	0	0	0	0	0		
		地震火災	人	259	237	135	116	144	133		
		屋外転倒物・落下物	人	26	26	0	0	10	10		
		計	人	7,353	7,355	7,345	7,337	9,043	9,045		
	重傷者数	建物倒壊		人	1,969	1,969	2,389	2,389	2,267	2,267	
			屋内収容物の移動・転倒、屋内落下物	人	311	311	405	405	321	321	
		土砂災害	人	0	0	0	0	0	0		
地震火災		人	73	67	38	33	40	37			
屋外転倒物・落下物		人	9	9	0	0	3	3			
計		人	2,051	2,045	2,427	2,422	2,311	2,307			

※一部抜粋

4 調査結果の活用

(2) 防災施策への活用

③ 県民に対する情報提供

■ 啓発動画



※一部抜粋

4 調査結果の活用

(2) 防災施策への活用

③ 県民に対する情報提供

■パンフレット

地震版マイ・タイムライン

同じ地震でも、その地震から受ける影響は一人ひとり異なります。自分に、家族に、必要な日頃の備えを見直し、「いつ」「何をすればよいのか」をイメージするため、マイ・タイムラインを作成してみましょう。
ただし、地震はイメージ通りには起こりません。実際に地震が発生した際、状況に応じて行動することが必要です。マイ・タイムラインの作成はその「第一歩」です。

日頃の備えをチェックしておきましょう。

- 自宅想定される震度は? 震度
- 避難場所・避難所を確認 避難経路を確認 に避難
- 家具の固定をする 地震対策をする
- 家具の設置場所を工夫し、なるべく高いものにする
- 家族との連絡方法を決めておく
- 車中泊などに乗って車のガソリンを満タンしておく
- 家を建てる時は耐震化や気化対策を行う 住宅の耐震診断や必要な補強を行う
- 地域で備える関係づくりや防災訓練などに参加する
- 地震保険に加入
- 備蓄品 在宅避難の備え 非常持出品リスト/備蓄品リスト
- 日常利用しながら備蓄する (3~7日分) (家族の状況に応じたもの) 飲料水 ランタン 食料品 (カップめん、カセットコンロ) 医薬品 (絆創膏、消毒液) 懐中電灯、カセットボンベ、カセットトイレ

地震が発生した際、事前に決めたことを慌てず実行しましょう。

- 頭を保護する行動をとる
- 屋外にいる時は、落下物の危険が無い安全な場所へ避難する
- エレベーターに乗っている時はすべてのボタンを押す
- 自由記載欄

地震が収まったら、安全確認をしつつ行動しましょう。

- 押し込まれたら大きな音を出す
- 火の始末や初期消火を行う
- 地域で取り決めた避難所・避難場所や家族で決めた場所へ避難
- 自由記載欄

もし避難する場合、注意しつつ避難行動をしましょう。

- 家族の安全を確認する テレビやラジオで被害状況を確認する
- 家が被害を受けた場合(場合) 避難所へ避難する
- 自宅が安全であれば在宅避難
- 自由記載欄

防災対策をすることで、被害を最小限に抑えましょう。

群馬の地震リスク

今、この瞬間にも起こり得る、大地震。
何が起きるかを知り、正しくおそれ、備え、覚悟すること。
大切な命を守るため、県民の皆様への大事なお願いです。

- 家屋の倒壊
- 室内被害
- 火災
- 土砂災害
- 浸水化
- ライフライン停止
- 交通渋滞
- 帰宅困難者
- 避難所混雑

Gunma Prefecture 群馬県

※一部抜粋

4 調査結果の活用

(2) 防災施策への活用

③ 県民に対する情報提供

■ 調査報告書／概要版

